

# 京都工芸繊維大学

## 開学120周年 創立70周年 記念式典

2019年7月12日 | 金 |  
13:00-17:30 大学センターホール

定員700名 入場事前申込(締切:2019年6月20日[木])  
申し込みフォームURL | <https://www.kit.ac.jp/form/view/index.php?id=182249>



### PROGRAM:

学長挨拶 森迫 清貴 | 京都工芸繊維大学学長

来賓紹介

記念講演 西 義雄 | スタンフォード大学名誉教授  
「スタンフォードモデルの進化と産学連携の実践」

京都工芸繊維大学の歴史とブランド プレゼンテーション

記念鼎談 「茶の湯の塗物と焼物づくり」  
千家十職 塗師 十三代 中村宗哲  
陶芸家 四代 諏訪蘇山  
小野芳朗 | 京都工芸繊維大学副学長

和楽庵サイバーハウス化プロジェクト発表

# 開学120周年、大学創立70周年を迎えて

京都工芸繊維大学は、1899年設立の京都蚕業講習所と1902年設立の京都高等工芸学校を前身として、1949年に新制大学として設置され、2019年に開学120周年、大学創立70周年を迎えます。

本学は、設立以来、日本伝統文化の源である京都の風土の中で、知と美と技を探究する独自の学風を築きあげ、学問、芸術、文化、産業に貢献する幾多の人材を輩出してきました。

近年では、国立大学法人化から国立大学改革の加速化の流れを受け、グローバル機能強化、地域創生拠点の設置、重点研究分野の拠点化など、大学の総力を挙げて様々な改革に取り組んできました。

本学は小規模単科大学ではありますが、様々な社会課題に対応できる幅広い専門分野を有しています。その環境を活かし、社会ニーズに根ざした分野横断型の新たな博士人材育成プログラム「Design-centric Engineering Program (dCEP)」を産学協働で展開します。

開学120周年、大学創立70周年の節目に京都工芸繊維大学は、これまでの改革の成果を生み出すステージに上がります。本式典を通じて、学際的なイノベーションに取り組む研究者や、歴史に根ざした伝統の革新を担う実践者とともに、本学が取り組む未来志向の教育研究について広く知らしめる機会になることを期待しています。

記念式典に合わせ、さまざまな関連企画を予定しています。

## 特別展

### 「近代デザインの誕生—京都工芸繊維大学美術工芸資料館名品展—」

概要：京都工芸繊維大学の前身校のひとつである京都高等工芸学校で、明治35年（1902）の開校時からデザイン教育の教材として収集したアール・ヌーヴォー期のポスターや美術工芸品などの貴重な作品を一堂に集めてご覧いただけます。

期間：第1期|2019年5月15日[水]–6月15日[土]

第2期|2019年6月24日[月]–8月10日[土]

休館：日曜・祝日

主催・会場：京都工芸繊維大学美術工芸資料館

お問い合わせ：<http://www.museum.kit.ac.jp/>|075-724-7924|shiryokan@jim.kit.ac.jp|

## 京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab 公開講演会

### 「京都に臨む」

概要：本学で教鞭をとられた二人の建築家、岸和郎氏と田原幸夫氏をお招きし、京都という都市に対してどう臨んできたか／いくかについてご講演いただきます。京都のこれからをどのように構想していくか、ともに考える機会となることを期待しています。

日時：2019年4月26日[金] 17:30–19:30

会場：60周年記念館1F 記念ホール

登壇：岸和郎[京都工芸繊維大学名誉教授]

田原幸夫[京都工芸繊維大学 客員教授]

定員：200名（事前申込不要・先着順）

主催：京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab

お問い合わせ：<http://www.d-lab.kit.ac.jp/>|075-724-7283|info@d-lab.kit.ac.jp|

